

新型コロナウイルス感染症対策下における、くらしの活動のすすめ方

【はじめに】

全国でもワクチン接種が進められ、岐阜県に発出されていた「蔓延防止重点措置」も解除されました。一方オミクロン株など変異体の感染拡大が懸念されています。くらしの活動をすすめるにあたり、引き続き、同感染症の予防対策としてお願いしたいことを以下にまとめました。どうぞご理解をいただき、ご自身を含め大切な人を守るためにご協力をお願い致します。なお、国や行政からの要請（緊急事態宣言や蔓延防止重点措置等）が発出されている場合は活動自粛をお願い致します。

1. くらしの活動をするときのお約束

1) 会議や催し等の参加（開催）にあたっての注意

- ①個人で参加する場合 …事前にご自分の体調を確認してから参加しましょう。
- ②企画を主催される方は…参加者の皆さんの体調チェックをお願いします。体調不良の方は、参加をご遠慮いただくようにしましょう。

<体調チェック…この項目に該当される場合は、参加ご遠慮ください>

- ・37.5度以上の発熱があった場合（または平熱比1度超過）
- ・息苦しさ（呼吸困難）強い怠さや軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合
- ・過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合

2) 人が集まって活動をするときをお願いすること

- ①会場が密にならないようにしましょう。
3密にならないよう、人と人との間隔を十分とりましょう。定員が定められている会場はその定員を守りましょう。野外の場合は間隔（2m目安）を取りましょう
- ②手洗い、除菌消毒をしましょう。
開催前には手を洗いましょう。アルコール除菌薬等を利用し開催前後には手の除菌消毒をしましょう。
- ③室内の場合1時間ごとに、10分程度の換気を行いましょう。
- ④企画やイベントなど、複数の人が集まってのおしゃべりはマスク着用の上、十分間隔を取ったうえで連続最大2時間までとしましょう。お話をするときは、相向かいに座ることはできるだけ避けてください、2mを目安に間隔をとってください。
- ⑤マスクを着用し咳エチケットはしっかり行いましょう。
国が出しているマスク着用指針では屋外や子供のマスクの着用について、十分距離が保つことが条件で緩和されています。2)の④にあるように、屋内や十分間隔がとれない（おおよそ2m）場合などマスクを着用しておしゃべりしましょう
- ⑥不特定多数で集まり調理をして、取り分けをするようなおしゃべりを伴う飲食は自粛しましょう。
- ⑦終了後の除菌をしましょう。
生協の組合員施設を使用時には、貸し出し時にお渡しする施設点検表に沿って行って

ください。

- ⑧生協の施設を利用して参加者を広く募って企画を開催する場合、参加者名簿（健康チェック表）を提出いただくことがございます。
- ⑨外部施設を使用して開催する場合はその施設のお約束に沿って開催をお願いします。

2. 組合員施設の貸し出しについて

コープぎふでは、組合員施設の貸し出しについては、「新型コロナウイルス感染症対策下での組合員施設の貸し出しについて」にてご案内させていただいています。随時更新を進めていますので、そちらをご確認ください。

※組合員が行う活動について、生協から応援できることについては最寄りの支所か、くらしの活動部へご相談ください。

3. メーカー・生産者を招いての学習会

感染予防の点から上記1の1)、2)を遵守いただき、実施してください。

4. 料理会や試食会について

料理をみんなで作ったり盛り付けたり取り分けたり、おしゃべりしながら食べたりすることは飛沫感染のリスクが高まります。不特定多数の人が集まって開催するおしゃべりをしながらの料理会や試食会については、自粛をお願いいたします。家族や、小単位での料理実習や試食会については感染症対策を徹底し、調理する時間とおしゃべりする時間を明確に分けて開催しましょう。

※組合員施設の調理室・調理道具使用は引き続き中止させていただきます。

※組合員施設内の飲食は水分補給を目的に個人ごとに用意した飲料、とりわけを必要としないお茶菓子に限ります。職員主導、もしくは一緒に参加して行う活動に限り、感染症対策を徹底したうえで食事をとることができます。

5. 産地見学

産地見学については、メーカー、生産者の皆さんも新型コロナ感染症対策を実施してみえます。そのため、産地見学の受け入れについては、それぞれのメーカー、生産者によって様々です。産地見学をご希望の方は最寄りの支所か、くらしの活動部にお問い合わせください。なお、参加見学を行う場合は道中を含め、感染症対策を取り、受け入れメーカー、産地の条件に沿ったうえで参加をお願い致します。

6. 今後のくらしの活動について

コープぎふは、くらしの中での“おしゃべり”を大事にしています。しかし現在その“おしゃべり”の機会が感染症によって、危機に陥っています。今求められているのは、新しいおしゃべりの形ではないかと思えます。新しいおしゃべりの形、場を創造していくことが求められます。一緒に創っていきましょう。

※施設の貸し出しや地域の活動についてのお問い合わせは、各事業所にお問い合わせください。

2022年 6月

生活協同組合コープぎふ 理事会

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
- 遊びに行くなら**屋内より屋外**を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、**症状がなくてもマスク**を着用
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に洗う**（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒** 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「**3密**」の回避（**密集、密接、密閉**）
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ませ
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 名刺交換はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

※施設の貸し出しや地域の活動についてのお問い合わせは、各事業所にお問い合わせください。

※くらしの活動については【くらしの活動部】までお問い合わせください。

コープぎふ くらしの活動部

Tel : 058-370-6873